

チャイルドラインについて

1 チャイルドラインとは

1970年代からヨーロッパで始まり、その後、欧米、東欧、アジアなど70数カ国に広まり実施されている、子どもの声を受け止める電話です。

(1) これまでの主な動き（H18.12月現在34都道府県63団体で実施）

H10年2月 日本初「せたがやチャイルドライン」開設

H11年1月 チャイルドライン支援センター設立（H13年NPO法人化）

H16年10月 文科省「児童生徒の問題行動対策重点プログラム」にチャイルドラインの周知、促進を図る項目が盛り込まれる。

H18年10月 チャイルドラインうえだ開設

(2) 趣旨・目的

チャイルドラインは、これまでの問題を解決することを目的とした相談電話と異なり、電話をかけてきた子どもの匿名性やプライバシーを守り、話すのも電話を切るのも子どもが決める、子どもの主体性を尊重した相談電話です。

問題をひとりで抱えている子どもが、誰かに話すこと、話せたことで、自ら持つ力で問題に立ち向かっていくことを支援するとともに、電話を受ける側のおとなたちも手を携えて、子どもたちに育ちやすい環境をつくることを目指しています。

(3) 上田における活動（資料提供：チャイルドラインうえだ運営委員会）

- ・開設：平成18年10月開設、毎週水曜日、午後4時から9時まで
- ・運営主体：チャイルドラインうえだ運営委員会（事務局：NPO法人シャイン）
- ・活動実績

月\内容	学校・友人関係（うちいじめ）	家庭関係	自分（病気・不安・容姿等）	その他	無言・一言等	合計
H18.10月	49 (5)	6	11	20	143	229
H18.11月	35 (5)	2	6	10	89	142
H18.12月	17 (2)	1	4	9	52	83
H19.1月	49 (4)	7	13	29	156	254
H19.2月	42 (3)	10	8	18	112	190

* 県内の状況 … 長野、諏訪、上田の3箇所で開催されています。

- ・チャイルドラインながの：毎週月・木、午後4時から9時まで
- ・チャイルドラインすわ：毎週火・金、午後4時から9時まで

上田市における児童・生徒数の推移(見込み)

→合併・新上田市 (単位:人)

	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	
小	清明	357	326	312	297	290	268	256	271	254	241	243	226	248	252	247	261	258
	東	577	564	614	582	589	591	588	595	602	623	618	611	614	613	625	618	623
	西	473	480	469	475	499	491	500	500	497	484	490	511	500	509	513	507	484
	北	623	616	605	587	588	581	561	548	535	573	581	540	546	557	540	528	543
	城下	502	466	491	460	454	468	441	448	430	451	444	450	456	450	441	407	395
	塩尻	268	257	239	218	224	220	219	222	227	241	234	243	247	238	215	216	220
	川辺	645	621	618	602	586	582	578	606	578	599	620	628	657	669	693	690	689
	神川	652	632	619	642	622	617	603	604	607	596	611	667	679	678	668	655	649
	神科	987	948	839	787	773	758	727	731	733	717	703	732	766	758	774	812	818
	豊殿	324	329	341	329	340	359	352	335	302	285	264	252	260	256	252	268	283
	東塩田	410	377	364	368	359	363	355	369	386	382	375	381	370	356	337	334	335
	中塩田	618	621	604	628	603	612	608	615	632	615	644	655	655	658	642	647	642
	塩田西	360	355	348	343	339	322	310	298	295	286	280	269	263	251	243	238	233
	浦里	258	253	246	243	234	165	152	153	163	136	133	102	99	100	94	87	77
	川西	239	229	242	244	243	309	315	309	291	309	308	320	315	303	289	275	269
	南	727	704	692	688	668	704	674	689	700	701	704	746	771	782	807	804	812
	(上田地域小計)	8,020	7,778	7,843	7,493	7,411	7,410	7,239	7,293	7,232	7,239	7,252	7,333	7,446	7,430	7,380	7,347	7,330
校	丸子中央	662	654	633	603	598	581	591	585	584	612	586	589	584	559	535	511	502
	西内	98	90	92	92	98	91	92	86	94	90	89	77	69	67	54	51	40
	丸子北	552	558	550	560	561	558	553	542	527	508	508	506	479	467	478	470	446
	塩川	278	277	271	269	252	247	252	242	240	249	256	248	250	235	218	211	183
	(丸子地域小計)	1,590	1,579	1,546	1,524	1,509	1,477	1,488	1,455	1,445	1,459	1,439	1,420	1,382	1,328	1,285	1,243	1,171
	菅平	143	140	131	128	113	111	98	90	79	78	74	66	69	65	70	56	60
	長	211	204	177	183	163	169	162	169	163	168	144	138	122	113	104	99	
	傍陽	215	224	213	206	188	185	177	162	153	140	133	131	126	125	120	113	115
	本原	362	380	381	373	370	381	390	376	365	332	327	316	288	274	266	266	246
	(真田地域小計)	931	948	902	890	834	846	834	790	766	713	702	657	621	586	569	539	520
	武石	342	329	300	282	261	238	224	223	241	227	215	237	235	225	210	205	204
	児童数 合計	10,883	10,634	10,391	10,189	10,015	9,971	9,785	9,761	9,684	9,638	9,608	9,647	9,684	9,569	9,444	9,334	9,225
	(対前年増減率%)	▲ 2.3	▲ 2.3	▲ 1.9	▲ 1.7	▲ 0.4	▲ 1.9	▲ 0.2	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 0.3	0.4	0.4	▲ 1.2	▲ 1.3	▲ 1.2	▲ 1.2	

中	一中	642	617	615	622	635	645	623	603	581	593	589	623	621	633	628	647	643
	二中	392	381	381	367	342	321	304	288	267	271	299	314	288	276	278	290	275
	三中	514	464	504	494	516	514	495	489	456	443	457	504	532	507	495	495	517
	四中	609	638	628	636	627	613	629	580	592	551	580	599	572	575	565	617	614
	五中	758	717	701	632	592	554	557	538	527	504	533	559	554	526	506	478	483
	塩田	700	721	745	747	745	693	687	646	647	653	630	653	628	673	674	665	641
	六中	610	616	603	605	590	562	529	501	524	520	529	525	522	537	512	533	538
	(上田地域小計)	4,225	4,154	4,177	4,103	4,047	3,902	3,824	3,645	3,594	3,535	3,617	3,777	3,717	3,727	3,658	3,725	3,711
校	丸子	446	412	383	368	379	390	370	358	319	323	349	368	370	340	342	354	348
	丸子北	442	420	435	440	445	434	431	427	408	403	388	401	411	406	389	362	389
	(丸子地域小計)	888	832	818	808	824	824	801	785	727	726	737	769	781	746	731	716	737
	菅平	75	69	72	74	72	74	70	67	59	58	49	48	39	41	33	43	40
	真田	414	436	440	416	412	408	394	398	375	377	334	359	349	354	331	294	282
	(真田地域小計)	489	505	512	490	484	482	464	465	434	435	383	407	388	395	364	337	322
	依田窪南部	173	186	190	178	176	168	160	146	125	122	114	112	104	106	124	119	109
	生徒数 合計	5,775	5,677	5,697	5,579	5,531	5,376	5,249	5,041	4,880	4,818	4,851	5,065	4,990	4,974	4,877	4,897	4,879
	(対前年増減率%)	▲ 1.7	0.4	▲ 2.1	▲ 0.9	▲ 2.8	▲ 2.4	▲ 4.0	▲ 3.2	▲ 1.3	0.7	4.4	▲ 1.5	▲ 0.3	▲ 2.0	0.4	▲ 0.4	

児童・生徒数合計	16,658	16,311	16,088	15,768	15,546	15,347	15,034	14,802	14,564	14,456	14,459	14,712	14,674	14,543	14,321	14,231	14,104
(対前年増減率%)	▲ 2.1	▲ 1.4	▲ 2.0	▲ 1.4	▲ 1.3	▲ 2.0	▲ 1.5	▲ 1.6	▲ 0.7	0.0	1.7	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 1.5	▲ 0.6	▲ 0.9	

※平成18年度までは学校基本調査による5月1日現在数。
 ※依田窪南部中学校(組合立)の数値は、在籍生徒中の武石地域在住生徒数を掲載。
 ※平成19年度以降は、19年1月1日現在の住民基本台帳情報より学齢人数を各通学区ごと集計し推計。

(参考:国・県ベースの動向)

(単位:千人)

	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
(全国)児童・生徒数	12,633	12,337	12,044	11,744	11,470	11,289	11,102	10,975	10,864	10,824	10,789
(対前年増減率%)	▲ 2.3	▲ 2.4	▲ 2.5	▲ 2.3	▲ 1.6	▲ 1.7	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 0.4	▲ 0.3	
(長野県)児童・生徒数	222	218	214	210	206	204	200	198	197	195	194
(対前年増減率%)	▲ 1.8	▲ 1.8	▲ 1.9	▲ 1.9	▲ 1.0	▲ 2.0	▲ 1.0	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 0.5	

上田市における外国籍児童生徒支援について

<はじめに>

上田市における外国人登録者数は、平成2年頃から増加し始め、15年以降県内市町村中最も多い状態が続いています。(長野県は全国で15位、上田市は長野県で1位)

平成18年12月末現在の登録者数は、48カ国6,093人で、国籍別ではブラジル(3,023人、49.6%)が最も多く、次に中国(1,054人、17.3%)、ペルー(480人、7.9%)、韓国・朝鮮(358人、5.9%)となっています。

急激な外国籍市民の増加により、言葉や制度、習慣等の相違に起因する様々な課題が表面化の中で、在留期間の長期化とともに、子どもの数も徐々に増えてきたことから、子どもの教育問題が浮上してきました。

1 外国籍児童生徒の状況

(1) 外国籍児童生徒数の推移

(単位:人)

年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
小学校	93	103	124	101	120	139	160	181
中学校	32	44	53	50	50	54	60	70
計	125	147	177	151	170	193	220	251

平成18年度は、合併後の5.1現在(以下同じ)の数値。小学校25校中18校、中学校11校中8校に外国籍児童生徒が在籍しています。

(2) 外国籍児童生徒国別内訳

国名	ブラジル	ペルー	ボリビア	韓国	中国	タイ	インドネシア	その他	合計
小学校	88	29	19	14	11	5	7	8	181
中学校	32	12	3	6	8	3	1	5	70
計	120	41	22	20	19	8	8	13	251

(3) 外国籍児童生徒学年別・性別内訳

学年	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年	合計
男	14	13	18	12	19	13	13	11	11	124
女	11	17	21	14	12	17	12	9	14	127
計	25	30	39	26	31	30	25	20	25	251

2 これまでの外国籍児童生徒の支援策

(1) 日本語教室設置校

在籍する外国籍児童生徒が多い学校には、日本語教室が設置され、加配教員が配置され

ています。 *小学校6校、中学校2校、計8校に設置

(2) 日本語教育指導員配置 (市単独)

在籍する外国籍児童生徒が多い学校に、ポルトガル語又はスペイン語の話せる指導員を年40回程度派遣(1回2時間)しています。

*小学校11校、中学校3校、計14校に配置

3 課題と新しい支援策

(1) 外国籍児童生徒支援員の配置 (H18から)

ア 課題: 言葉が通じないことにより、就学に伴う教委や学校での手続き、家庭訪問の時など支障が出ていました。

イ 対応策: 子ども教育課と市民協働課兼務でバイリンガル(ポルトガル語)の外国籍児童生徒支援員を配置し、次の支援業務を行なっています。*4月から配置

- ① 転入学齢外国人の就学相談
- ② 家庭訪問等学校における外国籍児童生徒への対応支援
- ③ 配付文書等のポルトガル語への翻訳、集中日本語教室の開設 等

(2) 集中日本語教室の開設 (H18から)

ア 課題: 来日直後等で日本語や日本の生活習慣を全く知らない子どもたちにとっては、日本の学校生活に適応していくのには、大きな困難が伴います。

イ 対応策: 基礎的な日本語や生活習慣などを学び、スムーズな学校生活への適応を支援するため、集中日本語教室を開設しました(試行期間を経て8月に正式開設)。

- ① 場 所: 東小学校内の余裕教室を利用
- ② 指導体制: バイリンガル教員1名、バイリンガル指導補助員1名、ボランティア
- ③ 流 れ: 就学指定校決定 → 集中日本語教室(ステップ1) → 修了後在籍校へ → 在籍校の日本語教室(ステップ2) → 在籍する学級へ
- ④ 在籍状況

開設時: ブラジル5人、ボリビア1人 計6人(小5、中1)

12月: ブラジル14人、ボリビア2人 計16人(小15、中1)

2月: ブラジル17人、ボリビア1人、タイ1人 計19人(小18、中1)

4 今後の課題

現在集中日本語教室の教員・指導補助員が話せる言語が、ポルトガル語とスペイン語ですので、ほかの言語を母語とする児童生徒への対応が一つの課題となっています。

また、小1から中3までの幅広い年代層の日本語レベルも様々な子どもたちに対して指導しなければならないので、対応可能な人数に限界がありますし、地域的なバランスから、最低もう1箇所集中日本語教室を設置できればと考えており、準備を進めています。